

Title: 「まゆげの行方」



藤森 恵
「はじめましてこんにちわ。FW2期生フジモリメグミと申します。佛国したらいっしょにもんじゃをたべましょう。」

● 最近のエントリー

☞ [思い出サルページ②](#)
(2011.08.10)

● アーカイブ

- ☞ 2011年11月
- ☞ 2011年08月
- ☞ 2011年06月
- ☞ 2009年07月
- ☞ 2009年03月
- ☞ 2008年09月
- ☞ 2008年06月
- ☞ 2008年05月
- ☞ 2008年03月
- ☞ 2008年02月
- ☞ 2008年01月
- ☞ 2007年12月
- ☞ 2007年11月
- ☞ 2007年10月
- ☞ 2007年09月
- ☞ 2007年08月
- ☞ 2007年07月
- ☞ 2007年06月
- ☞ 2007年05月
- ☞ 2007年04月
- ☞ 2007年03月

● 投稿カレンダー

● カテゴリー一覧

● ブックマーク

学校法人 日本写真芸術専門学校
NIPPON PHOTOGRAPHY INSTITUTE



RSS 2.0

[まゆげの行方](#) > 2011年08月 アーカイブ

11.08.10

思い出サルページ②

[Tweet](#)

[Check](#)

またまたご無沙汰しております。
2期生フジモリメグミです。

前回のブログにも書かせていただきました、
思い出サルページ・オンライン。
<http://jsis-bjk.cocolog-nifty.com/>
久々の活動報告をば。

8月6日・8日、
我が母校日本写真芸術専門学校にて
被災したアルバムたちをみつけやすくするための
インデックス制作をドカンと
行っておりました!!!
都内作業ということもあって、
両日ともたくさんのボランティアが集まってきてくれ
山元町でお会いした顔もたくさん!!!
継続したパワーを披露してくれる皆さんに
とっても心打たれております

いま山元町では
洗浄・複写作業の済んだ写真・アルバムたちを
持ち主のもとにお返ししてゆく作業を
すすめています。
(写真やアルバムの複写は完了しました◎)

津波にさらわれた写真・アルバムたちは
海水や泥をかぶってしまったので
泥おとし・洗浄をするんだけど
それだけでは元の姿には戻らないし、
実際のアルバムはとにかく重い。

それを一冊一枚と手に取って確認することは
お年寄りや子供たちにとっては
精神的にも体力的にも
重労働になってしまう。
その負担を解消してゆくために、
アルバムの表紙と数枚の写真をピックアップしたインデックスを
制作することになりました。
加え、アーカイブ検索と
iPadでの検索、伝承館での展示。

たくさんの方の協力のおかげで、
アルバムたちはどんどん持ち主のもとに
もどっているそうです まいにち。
あらゆる年代向けの検索バリエーションに
ワタシも本当に感動しています。

母校である日本写真芸術専門学校が
作業場を提供してくれるように動いてくれたことも、
教務の方やともだちが作業に参加してくれたことも
声をかけてくれたひとがいたことも
ボランティアに参加してくださった方たちにも
とってもとっても感謝しています。
本当にありがとうございます。

これはどうしてアルバムがなるってことか

たかところ、この瞬間には、
100%お家が流されてしまったということ。
持ち主が生きているかどうかはわからない。
一生手元に戻らないものも きっとある...

ここにあるのは
ありふれた日常で、
写真たちをみていると
相変わらず心は痛みます。
日常を過ごすことへの違和感には
いまでも戸感ってしまう。

震災からもうすぐ5ヶ月。
なにが正しいかはわからないし
言葉じゃ伝わりきらないだろうけど、
少しでも生きる希望になれるように
週末も山元に行ってきました！

カテゴリ:

post by 藤森 恵 | 日時: 2011.08.10 | [パーマリンク](#) | [コメント \(0\)](#) | [トラックバック \(0\)](#)